

平成22年第7回小金井市教育委員会定例会議事日程

平成22年7月13日(火)

午後1時30分開会

開催日時	平成22年7月13日	開会 午後1時30分 閉会 午後2時29分	
場 所	小金井市役所第二庁舎 801会議室		
出席委員	委員長 伊藤 恒子 委員長職務代理者 鮎川志津子 委員 高木 裕	委員 宮本 誠 教育長 向井 一身	
欠席委員			
説明のため出席した者の職氏名	学校教育部長 小林 美都江 生涯学習部長 渡辺 博 庶務課長 鈴木 遵矢 学務課長 前島 賢 指導室長 豊岡 弘敏 指導室長補佐 神田 恭司 指導主事 浜田 真二 指導主事 高橋 良友	生涯学習課長 尾崎 充男 兼生涯学習係長事務取扱 スポーツ振興 宮腰 誠 担当課長 図書館長 田中 肇 公民館長 大関 勝広 庶務課長補佐 高橋 正恵 兼庶務係長	
調 製	玉井 奈保子		
傍聴者人数	0名		

日程	議 題	
第 1		会議録署名委員の指名
第 2	議案第 1 2 号	小金井市公民館企画実行委員の選任に関し同意を求めることについて
第 3	報 告 事 項	1 平成 2 2 年度小金井市立小・中学校特色ある取組について 2 第 2 1 年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」結果について 3 海の移動教室について 4 第 1 2 回青少年議会について 5 「玉川上水・小金井桜整備活用計画」の策定について 6 平成 2 2 年度ボランティアの資質向上に関する三市・学芸大学連携講座について 7 (仮称) 小金井市貫井北町地域センター建設市民検討委員会委員の追加選任について 8 その他 9 今後の日程
第 4	代 処 第 2 1 号	非常勤嘱託職員の活用に関する代理処理について
第 5	議案第 1 3 号	非常勤嘱託職員の退職について
第 6	議案第 1 4 号	非常勤嘱託職員の採用について
第 7	議案第 1 5 号	非常勤嘱託職員の退職について

伊藤委員長 皆様、こんにちは。
ただいまから平成22年第7回小金井市教育委員会定例会を開催する。

日程第1、会議録署名委員の指名。本日の会議録署名委員は、高木委員と宮本委員にお願い申し上げます。

(委員一同異議なく、上記2名が選出された。)

伊藤委員長 次に、日程第2、議案第12号、小金井市公民館企画実行委員の選任に関し同意を求めることについてを議題とする。
提案理由をご説明いただく。

向井教育長 提案理由についてご説明する。
第20期小金井市公民館企画実行委員の任期が平成22年7月20日に満了となるため、新たに第21期小金井市公民館企画実行委員を委嘱する必要があるので、本案を提出するものである。
細部については担当から説明するので、よろしくご審議の上、ご同意賜るようお願いを申し上げます。

大関公民館長 細部についてご説明する。
前回の教育委員会にてご報告したとおり、第20期企画実行委員の任期満了に伴い、このたび、21期の新たな委員の選出を行った。内容については、5月15日号の市報で募集を行ったところ、32名のご応募があった。6月15日の調整会において、1名が辞退し、もう1名は抽選により落選となり、別紙資料のとおり30名を選出している。この30名については、小金井市公民館条例第21条に定める小金井市公民館企画実行委員を選出要綱に基づき候補者名簿に登載し、また選任した上、委嘱したいと考えているので、何とぞご審議の上、ご同意賜るようよろしくお願いする。

伊藤委員長 ご説明は終わった。何かご質問、ご意見はあるか。

宮本委員 1つよろしいか。

伊藤委員長 どうぞ。

宮本委員 選出要綱の中で、3条の（1）に、括弧として、応募時に18歳以上の各年齢層から選出するというふうにわざわざ書いてあるが、ちょっとその趣旨と、それから今回もそれにのっとなってなされているのか。

大関公民館長 市民参加条例施行規則では、18歳以上の方から対象と規定しているの、それにのっって行っている。

伊藤委員長 各年齢層から選出することについてはいかがか。

大関公民館長 各年齢層からという。

宮本委員 年齢層というのは、要するに、40代とか50代というような意味合いなのか。

大関公民館長 一応そういうのがあがるが、各年齢層から何人ずつ選出するといったことは、実態としては行っていない。

伊藤委員長 いかがか。

宮本委員 結構である。

伊藤委員長 今度のときにでも、どういう年齢層になっているかお話しただければよろしいか。

渡辺生涯
学習部長 前回までは各候補者の年代別のパーセンテージ等をお示ししているの、次回の教育委員会でお示ししたいと思う。

それから、もう1点、応募者という形でやっている。先ほど説明したとおり、32名ということで、全体が30名であるので、ほぼ定数に近いような応募状況であるので、本来は、例えば20代、30代、40代、50代、60代とか分けるべきであろうが、なかなか実態としてはそういった応募が少ないということで、この辺に関

しては応募を立候補ということでご容赦いただきたいなというふうに思う。

以上である。

大関公民館長 それから、ちょっと細かいことを説明させていただく。

伊藤委員長 どうぞ。

大関公民館長 男女別では、男性17名で57%である。女性が13名で43%。平均年齢は、最少が47歳から最高が79歳まで、平均が67歳となっている。それから、新任と再任の別であるが、新任が15名、再任が15名である。

以上である。

伊藤委員長 ありがとう。
いいか。

宮本委員 はい。

伊藤委員長 一応応募規定にそう書いてあったのでということだと思うので、もしそういうことがあるならば、応募するときにまたそれなりの条件をつけて応募していかなくてはいけないかと思うが、今のところ、こういうことだということによろしいか。

では、お諮りする。

議案第12号、小金井市公民館企画実行委員の選任に関し同意を求めることについて、原案どおり同意することにご異議はないか。

(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長 異議なしと認める。本案は原案どおり同意することに決定する。
次に、日程第3、報告事項を議題とする。

順次担当からご説明いただく。

報告事項1、平成22年度小金井市立小・中学校特色ある取組についてお願い申し上げます。

豊岡指導室長 私のほうから、平成22年度小金井市立小・中学校特色ある取組について報告する。

本年度の施策説明会の中で伝えたように、今年度の教育施策等について各学校でどのように取り組んでいるのか、その実践について学校経営推進状況調査という項目で調査を行ったところである。この調査をまとめたものがお手元の資料である。項目内容を、その他を含めて10項目、「わかる・できる・活かす」授業改善、体力の向上、ICT活用の推進、特別支援教育の推進、環境教育の推進、生命尊重を基盤とした教育の充実、社会貢献活動の充実、体験活動の充実、教員の人材育成、その他の取組の10項目である。

それぞれの項目に記された1行の取組の背景には、企画、実施、反省等を含め、多くの学校の労力と成果が得られている。校長会、副校長会等を通じてこれを配付し、市内の小・中学校の特色ある教育活動をさらに充実させるために参考にしてまいりたいというふうに思っている。

詳細について、各学校がもしこの学校のこの特色をとということであれば、各学校ごとに連携をし、連絡を取り合って進めるということをやっている。小金井市の小・中学校が一層特色ある充実した教育活動が展開できるように活用したいというふうに思っているし、私どもも支援をしてまいりたいというふうに思う。

報告は以上である。

伊藤委員長 ありがとう。
何かご質問、ご意見はあるか。

鮎川委員長 学校経営推進状況調査というのは、毎年行われているものか。
職務代理者

豊岡指導室長 3年前から、向井教育長が教育長についた年から始めている。その都度、このような形でまとめているところである。

鮎川委員長 続いて、もう1つ質問である。
職務代理者 3年前からこの調査が行われているということであるが、今回、明日の小金井教育プランのほうでも特色あるというようなことが挙げられていたと思うが、今回、この調査の中で10項目というの

はその振興計画につながるものになるのか。それとも、ただ、今までの流れでの調査であるのか。

豊岡指導室長 教育プランの特色、それから今回このような形で3年間通じて行ってきた特色、学校のまさにそれぞれの顔が見えるような形でということと、学校においては、学校で取り組んでいる教育活動その他、特色と意識せずにやっているところもある。その意識化を図るためにも、これはA校の、B校の特色として価値づけてくださいというように意味合いも1つある。教育プランの特色については、まさにそれを集約した形で、さらにもう少しもっと深めた形で、特色を表面化して、表面に押し出すような形のとらえをしているところである。

鮎川委員長 わかった。ありがとう。

職務代理者 今、室長先生がおっしゃったとおり、特色と学校が意識せずに行っているプラスアルファの部分は、先生方は一生懸命してくださっているのに、特色と意識されていないことが多かったと思う。今のお話を伺って、とてもよいと思った。ありがとう。

豊岡指導室長 まさに、こういう教育委員会の教育委員の先生方、それから市民や多くの方に、各学校がほんとうに子どもたちの健やかな成長のために取り組んでいるということを広く知らせていきたいなというふうに思っている。

伊藤委員長 それぞれの取組が大変わかるようにまとめていただいて、ありがとう。

1つ、実は質問というか、お願いを申し上げてよろしいか。先日、小金井市教育委員会の一員として学芸大学附属小学校の評議委員会に出席させていただいているが、その場で附属小学校を中心とした学芸大学の取組として、例えばこの8ページにある生命尊重を基盤とした教育の充実の中に、動物との触れ合いというようなことに4校がかかわってくださっているということで、例えば学校での動物飼育の基礎と実習、触れ合いの授業などということが、8月10日に学芸大学でそういう研究というのか、ワークショップがあると、そういったようなことがあった。例えば、これを見て、そのことを

思い出させてください、その場であちらのほうからこういう発信を小金井の教育委員会にもさせていただきたい、また、小金井のまさにこういう研究や実践をなさっている発表等をお知らせいただきたいというようなお話があった。たまたまそこには校長も大学関係者もおいでになったが、ぜひそういう研究を通ずる、またそういうワークショップや実践を通ずる交流をしたいというお話があったので、今は動物のものと、あと国語授業力というのがやはり夏休み、8月20日に行われるようである。こういったものが参っているので、興味がある方には小金井市のこういったいろいろな取組もぜひ学大の附属小学校、中学校の方にお知らせを欲しいということであったので、いい意味で連携がとれるといいなというふうに思う。その場で、公立小学校と附属とはどういう関係にあると思うかというお尋ねがあったので、よきライバルだと思うというふうに答えておいたので、互いに切磋琢磨して、子どもたちのためによい教育ができたらいいなというふうに思う。ここの8ページを見て思い出したので、よろしく願います。

では、それはよろしいか。

高木委員 ちょっと1つよろしいか。

伊藤委員長 どうぞ。

高木委員 特色ある取組ということで、特色というのはほかとの違いというようなイメージが私はするが、ここをずっと見ていて、10項目のところのその他の取組、ここは各学校ごとにすごい違いがあるなど、特色あるなという感じがするが、ほかの項目というのは、小学校は小学校、中学校は中学校でわりと似ているなというふうに思うが、特色あるというのは小金井の教育委員会の施策が他の市町村と比べて特色があるという意味合いか、それとも学校ごとに特色あるという意味合いか、その辺をちょっと確認したい。

豊岡指導室長 特色の考え方であるが、まさにいろいろなとらえがあるところもあろうかと思うが、1つは、委員おっしゃったように、この学校しかない教育活動、教育内容。それから、どの学校にもあるんだが、その年々で学校経営方針の重点的なものを特色として打ち出して

いる場合、教育委員会でもここは重点だと打ち出している項目がこの10項目になっている。そういった特色という考え方を各学校に、先ほど申し上げたように意識してもらうために、この項目、教育委員会の重点課題の特色で挙げてもらったというのが、1つここの調査におけるまとめになろうかというふうに思う。他の自治体においての比較ということでは、同じように考え方をやってやっているとところもあると思うが、この調査自体、それからまとめ自体は小金井独自のものということで考えている。

高木委員 小金井の中、ほかの市町村との比較の問題ではなくて、市の中で、大きな項目の中でそれぞれの学校がどこに重点を置くか、何に重点を置くかということで、たまたま重なるところもあるし、そうではないところもあるということなのか。

豊岡指導室長 そのような考え方でこちらのほうも考えてまとめている。

伊藤委員長 よろしいか。

特色と言うからには、教育委員会が重点とする10項目についてそれぞれの学校がどのような努力を特色化するべく努力をしているかと、そういうとらえ方でよろしいか。

また、昨日、27市何町村かの女性教育委員の集まりがあつて、参加させていただいたところ、特色ある教育活動にはそれぞれ予算がついているようだった。特色ある教育活動を行うにつき別途予算を、どこの市かメモを見ないとわからないが、別途1,000万を用意し、校長のプレゼンによって、そこに特色ある教育活動を深化、充実すべく別途予算をつけているというようなお話もあつた。今後、特色あつて、そのことには予算がかかわるなというようなときは、そういったこともできるようになる小金井市であるといいなというふうに思う。意見である。

豊岡指導室長 本市も特色ある学校づくり経費ということで、毎年、各学校にその各学校が特色を出すためにということで予算計上をしているところである。

伊藤委員長 そうなのか。ありがとう。うれしい。

それでは、報告事項2に移ってよろしいか。報告事項2、平成21年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」結果についてお願いする。

神田指導
室長補佐

私からは、平成21年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」結果について報告をする。

本調査は、平成21年1月15日金曜日に、市立全小学校の第5学年と市立全中学校の第2学年に学習に関する意識調査を実施した。また、東京都より指定された抽出校及び希望校の小学校2校の第4学年と中学校2校の第1学年を対象に、基礎的・基本的な事項に関する調査及び学習に関する意識調査を行った。児童・生徒一人一人の確かな学力の定着を図ること、各教科の目標や内容の実現状況を把握し、指導方法の改善、充実に生かすことを目的として各調査を行った。基礎的・基本的な事項に関する調査結果の分析等をもとに、学校ごとに授業改善推進プランの見直しを行い、修正をし、授業内容を充実させてまいる。

資料の6、学習に関する意識調査結果概要の矢印は、経年変化で5ポイント以上の増減を示している。学習に関する意識調査では、小学校は授業は楽しいし、よく分かるという児童が多く、中学生になると、教科内容の理解の程度は都平均よりも高いが、数学、理科、英語、総合的な学習の時間において楽しいかの問いに、都平均より低い結果になっている。このことから、授業はわかるが、楽しくないと考えている生徒がいることがわかる。結果分析を児童・生徒一人一人の生活や学習に関する指導に活用するように、指導室のほうも道徳授業地区公開講座等の機会をとらえ、児童・生徒の実態に応じた授業改善について学校に指導してまいる。

報告は以上である。

伊藤委員長

ありがとう。

鮎川委員長
職務代理人

1つ、質問よろしいか。

伊藤委員長

どうぞ。

鮎川委員長
職務代理者

1つ、質問である。今回、中学校第2学年の結果で、理科について授業が楽しいかについてと、よく分かるかの質問が、同じような動きをあらわしているように拝見した。平成19年度から20年度にかけては上がったものの、21年度には市は下がってしまっているようである。もちろん数字の動きに一喜一憂することはないと思うが、5ポイント以上下がってしまったことに対しての何かお考えがあったら教えていただけるか。

神田指導
室長補佐

ご指摘のとおり、理科について授業が楽しいかという点、それと、教科内容の理解の程度については、中学校の理科の部分についてのみ東京都の平均から下がってしまっているということがある。原因のところは十分分析ができていないので、わからないところがあるが、非常に課題であるにとらえている。さらに興味・関心を持たせながら授業改善を進めていくということが大切であるというふうにとらえている。

鮎川委員長
職務代理者

わかった。ありがとう。

宮本委員

ちょっと今と関連するが、小学校と比較すると、中学の数字は大分差がある。この授業改善のポイントというところにもつまずきの原因が何であるかを明らかにするというようなことが書いてあるが、3年間同じような傾向のようであるが、これはどういうふうにお考えなのか。

神田指導
室長補佐

つまずきの原因をしっかりと分析していくということが大切であるが、やはり中学生になっていくと、学習内容はわかっているというような実態がある。もちろん、先へ、高等学校へというようなことも考えて、自身学ぼうというようなところもあるんだろうが、なかなか学習自体、授業自体にうまく興味・関心を持って取り組めないというような実態もあると思う。そのあたり、先ほど申したが、非常にやはり課題だにとらえているので、より興味・関心を持てる授業改善というようなところで進めていきたいと思っている。

向井教育長 全部で36項目の調査だったわけであるが、去年は東京都と比較すると5項目ちょっとやはり低かったという結果である。今年はそれが11項目になっているわけである。楽しいというのはどうなんだろうという気持ちもあるが、楽しくないより楽しいほうがいいだろうし、わかればきっと楽しいだろうなというふうに思うが、この数値を教育委員会の、特に指導室として、もう少し具体的な背景とか中身に入って実態を把握していかないといけないかなというふうに私なんかは思うが、どんな課題意識を持っているか。

豊岡指導室長 今、教育長にお話しいただいたように、指導室としてもこの辺の点についてはさらに調査、分析をしていこうかなというふうに考えている。学力が高いという小金井市の子どもたちの状況であるが、実際に楽しいとか、意識的なものに関してしっかり押さえていかないと、結局は生涯学習につながらないので、この辺のところは意識をどういうふうに子どもたちが持って授業に、また学びにつなげていくかというところは研究してまいりたい。

向井教育長 これはぜひやってほしいなと思う。これらの数値の背景にどんな実態があって、どういうことを指導していかなければいけないのかなということのを的確にとらえて、指導に生かしてほしいというふうに考えている。よろしく願います。

伊藤委員長 先ほどの特色ある調査のところの第1、「わかる・できる・活かす」授業改善というところで中学の方を見ると、比較的、取組の内容で理科にかかわるものが少ないように思った。もちろん言語力とか数学とか、そういったものに力を入れることは大事なことであるが、もしこういう結果があるんだならば、そういったことも指導室の中で何らかの工夫及び示唆があって、子どもたちがより「わかる・できる・活かす」に近づいていただければうれしいかなというふうに思った。感想で申しわけない。

ほかにあるか。いいか、高木委員。

高木委員 結構である。

伊藤委員長 それでは、次へ移らせていただく。報告事項3、海の移動教室に

ついてお願いします。

浜田指導主事 海の移動教室についてご報告する。

小学校5年生を対象にした本年度の鵜原海の移動教室は、最初の出発である前原小学校を皮切りに、最後の本町小学校まで計画どおり実施し、9校すべて無事終了することができた。9校すべての学校で大きなけがや事故もなく、磯観察や地層観察、勝浦朝市などの見学をすることができた。今回の海の移動教室を通して、児童は2泊3日という集団生活の中から規律や協力、奉仕の精神を学び、また児童と児童、教師と児童における心の交流を深めることができた。自然観察や町見学を通しては、理科や社会、総合的な学習の時間などで学習してきた内容について、実際に見たり触れたりすることで改めて学習内容への関心を高め、実感の伴った理解に向けての一助とすることができた。本市5年生の児童は、今回の移動教室を通じて、ふだんの学校生活ではできないような貴重な体験学習を授業の一部として体験することができた。

以上である。

伊藤委員長 ありがとう。

ご質問はあるか。いいか。

では、先へ進む。報告事項4、第12回青少年会議についてお願いします。

浜田指導主事 平成22年度青少年議会については、今年度は日程調整ができず、議場での青少年議会は実施しないこととなった。そのかわりに、9月7日に中学校生徒会役員が市長との懇談会を開催する予定である。例年どおり、中学生から質問を提出させ、それに対して市長が回答し、懇談を行う予定である。残念ながら今年度は議会では開催できないが、来年度はまた議場で開催できるよう計画してまいる。

以上である。

伊藤委員長 ご苦労さまである。ありがとう。

質問はあるか。よろしいか。

それでは、次へ移る。報告事項5、「玉川上水・小金井桜整備活用計画」の策定についてお願いします。

尾崎生涯
学習課長

昨年度、業務委託した玉川上水・小金井桜整備活用計画を策定したので、ご報告する。計画書及び概要版については既にお配りしているので、口頭にてご報告させていただく。

この計画は、東京都水道局が平成21年8月に策定した史跡玉川上水整備活用計画を受けて、小金井市が取り組むべき整備活用計画をまとめたものである。計画の概要であるが、大きくは3つに分けた構成にしている。Ⅰとして計画策定の基本的考え方、Ⅱとして整備活用計画の基本方針、Ⅲとしてモデル区間の整備計画としている。

まず、1ページから7ページまでのⅠでは、計画策定の基本的考え方として、1の計画策定の目的であるが、名勝小金井桜を復活させ、次代に継承するため、東京都及び市民団体と連携・協働して小金井市が取り組むべき整備活用方針を示し、史跡玉川上水及び名勝小金井桜という歴史的文化遺産をまちづくりに生かすことを目的としている。2の対象区間及び整備期間である。対象区間は、上流は茜屋橋から下流は梶野橋付近までの約3キロの区間が対象となる。整備期間は、都計画と整合性を図り、平成22年度から平成31年度までの10年間としている。3のところでは、条件整備をまとめたものである。

次に、8ページから19ページまでのⅡでは、整備活用計画の基本方針として、1の基本方針では都の計画で示された3つのテーマを地域の特性に合わせて、より具体性のあるものにするを基本方針とした。2の整備活用計画の方向性では、桜の補植と並木の再生、緑道の整備、その他散策モデルルートの設定など、9項目にまとめている。

次に、20ページから23ページまでのⅢでは、モデル区間の整備計画であるが、基本方針として大正13年の名勝指定時から昭和30年代までの玉川上水堤に近い名勝景観を復元することを基本方針とした。このモデル区間は、上流は新小金井橋から下流は関野橋までの約640メートルの区間である。都はこのモデル区間を3カ年計画で先行して整備することが決まっている。市もそれに沿って整備を進める予定である。ここでの実施施策では、ヤマザクラの補植と並木の復活、人道橋の架設、緑道の整備の3つの項目を挙げ、方向性を示している。

詳細については、お配りした計画書をご覧くださいと思う。

以上である。

伊藤委員長

ありがとう。

何かご質問、ご意見はあるか。よろしいか。

それでは、次に移る。報告事項6、平成22年度ボランティアの資質向上に関する三市・学芸大学連携講座についてお願いします。

尾崎生涯
学習課長

平成22年度ボランティアの資質向上に関する三市・学芸大学連携講座についてご報告する。資料をご覧いただきたいと思う。平成22年度講座のお知らせの小金井会場の分である。中をご覧いただきたいと思う。

内容はコーディネーター初級育成講座となっている。定員は30名で、先着順である。小金井市の放課後子ども教室の事業でもコーディネーターが3人ほどいるが、まだまだ不足している状況もあるので、今回はコーディネーターの育成講座をお願いしたところである。内容についてはリーフレットをご覧いただきたいと思うが、7月9日から7月16日の10回分の講座となっている。会場はすべて学芸大学のコミュニティーセンターで行う。募集については7月1日号の市報で募集したところである。今、約20名の申し込みがあるということである。

なお、小平会場については9月から10月にかけて実施する予定で、国分寺会場は10月実施の予定である。

以上である。

鮎川委員長
職務代理者

1つ、質問よろしいか。

伊藤委員長

どうぞ。

鮎川委員長
職務代理者

このボランティアのコーディネーターという方は、実際にはどのようなことをなさるのか、ボランティアをコーディネートすることか。具体的に教えて頂きたい。

尾崎生涯
学習課長

小金井ですと、放課後子ども教室という事業をやっているが、それを各学校のPTAとか、保護者のOBの方とかが運営し、その

辺の調整役みたいな形で動いていただいているというのが実態である。そういう方を学校区毎に増やしていこうというようなねらいである。

鮎川委員長
職務代理者 わかった。ありがとう。

伊藤委員長 よろしいか。
では、次へ進む。報告事項7、(仮称)小金井市貫井北町地域センター建設市民検討委員会委員の追加選出についてお願いする。

大関公民館長 (仮称)小金井市貫井北町地域センター建設市民検討委員会委員の追加選出について報告する。

前回の教育委員会において市民検討委員会の委員10名を選出した旨の報告をさせていただいたが、これがすべて男性委員であったことから、女性の意見を取り入れるべきとの議会の指摘や、市民参加条例では男女比に配慮しなければならないということから、このたび、女性委員を3名追加した。追加委員については、前回、公募市民として応募いただいた8名の女性の方を対象に、6月28日に再度抽選会を行い、決定をしている。改めてこの13名の方を検討委員として7月1日付けの委員委嘱状を交付したいと思うので、よろしくお願いする。

伊藤委員長 ご質問はあるか。
10名だったところが13名になるというご報告でよろしいか。

大関公民館長 はい。

伊藤委員長 ありがとう。ご苦労さまであった。
それでは、次、報告事項8、その他、学校教育部等からご報告はあるか。

浜田指導主事 前々回、5月11日の教育委員会で配付した平成23年度小学校教科書採択の資料について改定があったので、ご報告する。お手元に別枠で2枚とじてあるものが行っていると思う。資料をごらんい

ただきたい。

1枚目の関係図については、選定調査委員会の構成人数を変更した。右側の四角の2つ目の人数が書いてあるところをごらんいただきたい。選定調査副委員長1名、そして保護者代表が2名だったので3名ということで、合計27名とした。

2枚目の細目については、裏面である。一番後ろの4番、選定委員会、これの保護者の委嘱についての推薦元であるが、ここにみなみの会というのを追加した。

報告は以上である。

伊藤委員長

わかった。

質問はあるか。

連合会にみなみの会が入っていなかったのも、それを追加したという理解でよろしいか。違ったか。

浜田指導主事

もともとPTA連合会からみなみの会も推薦をいただいていたところであるが、それが明記がしっかりなされていなかったということで、きちんと書いたというふうにご理解いただきたい。

伊藤委員長

明記したということであるか。

浜田指導主事

はい。

伊藤委員長

よろしいか。

それでは、その他、学校教育部から。

小林学校
教育部長

最後になったが、本来であれば、報告の最初に報告すべきであったが、6月定例会の報告をさせていただく。

22年第2回市議会定例会の報告をする。第2回定例会は6月1日から6月24日までの24日間開催された。その中で教育委員会関係につき報告する。補正予算以外に教育委員会関係の議案はなかった。補正予算であるが、教育委員会関係で約3,800万円の補正を計上し、原案可決している。

内容であるが、学校教育部のほうで、私立幼稚園等就園奨励費補助金約450万円、東京都が新たな補助の創設をしたことに連動し

て、市においても補助対象者361人に対し増額を図るものである。次に、スポーツ教育推進校経費250万円、今年度、スポーツ教育推進校として二小、四小、緑小、一中、二中の5校が学校の希望により指定を受け、東京都から1校当たり50万円の補助の範囲で実施するものである。次に、生涯学習部、公民館修繕料約120万円。次に、(仮称)貫井北町地域センター建設市民検討委員会委員謝礼27万円、現在、同委員会の委員10人すべてが男性であるため、女性の委員を3人増員するものである。それから、東京都の事業である緊急雇用創出事業の一環として、教育委員会分約2,900万円の補正も組んだ。これは緊急的に雇用の創出を図るためのものであるが、本市としては既に市全体で20事業を予定しているところ、今回、さらに全体で5件を加え、全部で25事業となるものである。この今回の5件の中に教育委員会関係3件が含まれている。1件は小・中学校便所特別清掃委託事業約1,500万円、これは小・中学校のトイレに長年により固着した日常清掃ではなかなか除去できない汚れを除去するためのものである。次に、近現代資料等整理及び電子データ化委託料約1,100万円、これは市史編さんのための資料作成のためのものである。次に、図書館における地域資料整理等委託料約300万円、これまで図書館において収集した資料の整理等のためのものである。以上7件が補正の内容である。

次に、一般質問であるが、発言の要旨は後日改めて送付をさせていただくが、学校教育部及び生涯学習部それぞれから簡単に項目等につき報告する。

まず、学校教育部関係では、11人の議員から質問をいただいた。主なものとして、特別に支援が必要な子どもたちに対する施策についてと題し、特別支援学級増設の検討はされているのかと学校介助員の配置についてである。次に、就学相談の進め方について。就学判定の時期について。食育を推進せよ。食育を推進していくために関係機関との協働をと題し、江戸東京野菜も含め地産地消の推進を。次に、学校給食の充実について。消防団の役割や日常活動について小・中学校で教えないか。性同一性障害について学校での対応は行われているのか。小・中学校での石けん使用の徹底を。学校施設整備の中でのトイレ環境について。明日の小金井教育プランに子どもの権利の視点はあるのかであった。

なお、食育に関しては各学校においてさまざまな工夫をしている

ところであり、南小の取り組みについて紹介をした。

次に、生涯学習部関係は生涯学習部長から申し上げる。

渡辺生涯
学習部長

生涯学習部門では1名の議員から質問があった。1つとして、清里山荘シャトルバス利用実績と今後の課題について。小項目として、利用実績と内容について、価格・利用料金設定について、広報PRの課題について。それから、もう1件、同じ方から図書館サービスについて。小項目として、新年度からの図書館サービスの改善点について、図書館サービスの今後の展開。

以上である。

小林学校
教育部長

一般質問は以上である。

次に、厚生文教委員会についてご報告する。

今回は、議案、陳情とも教育委員会関係はないが、子どもに関する諸問題の調査等において質疑があり、その中で特別支援学級、固定学級の増設について、市内東部地域に1校開設する予定であることをお知らせしている。

また、行政報告として3件報告した。1つには、学校教育部から南小学校におけるガスの停止に係る対応についてである。先月6月8日に南小学校においてガスの供給が一時停止し、翌9日に復旧したことを報告した。学校給食や授業については若干の調整をしたが、大きく影響したものはなく、これに関する苦情は1件もいただけていないところである。次に生涯学習部から、玉川上水・小金井桜整備活用計画の策定についてと、次に（仮称）小金井市貫井北町地域センター建設に係る進捗状況についての2件を報告した。

このほか、所管事項で2件質問があり、1件は図書館サービスの今後の展開について、もう1件は学校から通報する際の基準についてである。これらの質疑を最後に厚生文教委員会を終了した。

以上で、市議会定例会の報告を終わる。

伊藤委員長

ありがとう。

ほかにあるか。

小林学校
教育部長

学校教育部は以上である。

伊藤委員長 ほかに。

渡辺生涯
学習部長 東京国体について、スポーツ振興担当課長から報告をさせていただく。

宮腰スポーツ
振興担当課長 国民体育大会について報告させていただく。
去る7月7日、平成25年の第68回国民体育大会の開催地として東京都が正式に決定された。会期は平成25年9月28日から10月8日までの11日間である。多摩島嶼地域を中心に東京都全域で開催する。小金井市が担当する競技は、バスケットボールと弓道である。現在、本市においては東京都と連携をとりながら開催に向けて準備を進めているところである。
以上である。

伊藤委員長 ありがとう。
ほかにはないか。
それでは、報告事項9、今後の日程について願います。

高橋庶務
課長補佐 教育委員会の今後の日程についてお知らせする。
東京都市教育長会研修会が7月22日木曜日、午後2時から東京自治会館講堂にて開催される。全委員のご出席をお願いする。第8回教育委員会を8月10日火曜日、午後1時30分から801会議室にて開会予定である。全委員のご出席をお願いする。第9回教育委員会を8月24日火曜日、午後1時30分から801会議室にて開会予定である。全委員のご出席をお願いする。東京都市町村教育委員会連合会第2回理事会及び第1回理事研修会が8月26日木曜日、理事会、午後2時から、理事研修会、午後3時から東京自治会館大会議室にて開催される。委員長のご出席をお願いする。第10回教育委員会を10月12日火曜日、午後1時30分から801会議室にて開会予定である。全委員のご出席をお願いする。
以上である。

伊藤委員長 ありがとう。
次に、人事に関する議案がある。

委員長は、本案は小金井市教育委員会会議規則第10条第1項に規定する事件に該当するため、非公開の会議が相当と判断するが、委員の皆様、ご異議はないか。

(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長 全員異議なしと認め、秘密会を開催する。
準備のため休憩させていただく。

休憩 午後2時21分

再開 午後2時29分

伊藤委員長 再開する。本日の審議はすべて終了した。これをもって平成22年第7回教育委員会定例会を閉会とする。ありがとう。

閉会 午後2時29分